

令和 6 年

# 三重県議会定例会会議録

( 1 月 18 日 )  
( 第 1 号 )

第 1 号  
1 月 18 日



令和 6 年

# 三重県議会定例会会議録

## 第 1 号

○令和 6 年 1 月 18 日（木曜日）

□開会に当たり、一見勝之知事、中森博文議長は、それぞれ次の挨拶を述べた。

○知事（一見勝之） 令和 6 年三重県議会定例会の開会に際しまして、お集まりいただきました議員の皆様方に御挨拶を申し上げます。

まずは、令和 6 年能登半島地震でお亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

本県では、いち早く被災地支援に動き、発災翌日の 1 月 2 日未明には石川県へ職員を 2 名派遣し、県内六つの広域防災拠点に保管している災害用備蓄物資の全てを支援物資として送りました。

私自身も、いち早く全国知事会と連携を図るとともに、4 日には、中部 9 県 1 市の会議を開催するなど、協力体制を整えました。5 日には、石川県知事より、三重県の迅速かつ手厚い対応に感謝するとのことのお礼の電話がありました。17 日までに、次長級職員を含む延べ 66 名の職員を派遣し、避難所運営や健康管理、インフラ復旧の支援などを行っています。次長級職員を派遣したのは、こうしたケースで初めてのことだと思います。三重県は、輪島市のカウンターパート支援の総合調整の役割を担っているために、レベルの高い職階の職員を派遣し、調整をスムーズに行わせようとしたものであります。

また、県内市町の職員や警察職員、消防職員、医療関係者、トラック協会をはじめとする関係団体なども続々と被災地に入り、支援に当たっています。

引き続き、被災地の方々一人ひとりの思いに寄り添い、被災地のニーズに即した支援を県庁全体で全力を挙げて実施していきます。

議員の皆様の中にも、被災地を訪問された方々がおおいでになるかもしれま

せん。ぜひ、この議会でも、被災地の方に寄り添うのは一番重要でありますけれども、三重県で災害が起きたときにどう対応すべきか、そうした議論を進めさせていただきたいと思っております。

さて、本年の行政課題への取組についてですが、最重要課題であります三重県の未来を担う子どもや子育てに対する支援については、みえ子どもまるごと支援パッケージを強化し、さらなる充実を図ってまいります。また、我々に課せられた最大の使命である県民の命を守るために、南海トラフ地震等の災害に備えた防災対策を加速化します。

さらには、熊野古道の世界遺産登録20周年を契機とした観光プロモーションなどに取り組み、国内外に向けて三重の多様な魅力を発信していきます。

その他の重要施策を含めた令和6年度当初予算案については、現在、2月定例会議での議会提出に向けて調整を行っているところです。

議員の皆様方におかれましては、十分に御議論をいただきますよう、あらかじめよろしくお願い申し上げます。私の開会の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

**○議長（中森博文）** 新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

令和6年三重県議会定例会の開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

去る1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、多くの貴い命が失われ、現在もたくさんの方が避難所での生活を余儀なくされております。犠牲になられました方々に謹んで哀悼の意を表し、被災された皆様へお見舞い申し上げます。被災地の一刻も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

本県でも南海トラフ地震の発生が危惧されていますが、こういった災害から県民の生命、身体及び財産を守ることは、県政の基本となるものであり、議会といたしましても、改めて防災・減災、県土強靱化の加速化、深化に全力を傾注していかなければならないと感じております。

さて、国の内外に目を向けると、私たちは、緊迫の度を高める国際情勢や気候変動問題など、世界規模の課題に直面している一方、国内では30年余り

続いたコストカット型経済から、消費と投資が力強く循環する新たな経済のステージへ移行するチャンスを迎えています。

また、本県には、今年の熊野古道世界遺産登録20周年、来年の大阪・関西万博など、本県の多様な魅力を国内外に発信できる絶好の機会が到来しています。

それゆえに、県民から負託を受けた私たちが果たすべき役割は、一層重要性を増しています。

このような認識の下、当面する県政の諸課題への対応に向けて議会が一丸となり、まずは、令和6年度当初予算や様々な基本計画等の審査や調査について、活発な議論と検討を積み重ねてまいりたいと存じます。

議員並びに執行部各位におかれましては、格別の御精励を賜りますとともに、議事運営につきましても格段の御協力をお願い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。（拍手）

---

### 議事日程（第1号）

令和6年1月18日（木）午前10時開議

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期決定の件

---

### 会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期決定の件

---

### 会議に出欠席の議員氏名

出席議員 47名

1	番	荊原	広樹
2	番	伊藤	雅慶
3	番	世古	明

4	番	龍	神	啓	介
5	番	辻	内	裕	也
6	番	松	浦	慶	子
7	番	吉	田	紋	華
8	番	芳	野	正	英
9	番	川	口		円
10	番	喜	田	健	児
11	番	中	瀬	信	之
12	番	平	畑		武
13	番	中	瀬	古	初
14	番	廣		耕	太郎
15	番	石	垣	智	矢
16	番	山	崎		博
17	番	野	村	保	夫
18	番	田	中	祐	治
19	番	倉	本	崇	弘
20	番	山	内	道	明
21	番	稻	森	稔	尚
22	番	下	野	幸	助
23	番	田	中	智	也
24	番	藤	根	正	典
25	番	小	島	智	子
26	番	森	野	真	治
27	番	杉	本	熊	野
28	番	藤	田	宜	三
29	番	野	口		正
30	番	石	田	成	生
31	番	村	林		聡

32	番	小 林	正 人
33	番	谷 川	孝 栄
34	番	東	豊
35	番	長 田	隆 尚
36	番	今 井	智 広
37	番	稲 垣	昭 義
38	番	日 沖	正 信
39	番	舟 橋	裕 幸
40	番	三 谷	哲 央
41	番	服 部	富 男
43	番	中 嶋	年 規
44	番	青 木	謙 順
45	番	中 森	博 文
46	番	山 本	教 和
47	番	西 場	信 行
48	番	中 川	正 美
欠席議員	1名		
42	番	津 田	健 児

---

職務のため出席した事務局職員の職氏名

事務局長	高 野	吉 雄
書 記 (事務局次長)	西 塔	裕 行
書 記 (議事課長)	中 村	晃 康
書 記 (企画法務課長)	小 西	広 晃
書 記 (議事課課長補佐兼班長)	佐 竹	宴
書 記 (議事課主査)	長谷川	智 史
書 記 (議事課主査)	西 村	大 輔

---

## 会議に出席した説明員の職氏名

知 事	一 見 勝 之
副 知 事	廣 田 恵 子
副 知 事	服 部 浩
危機管理統括監	野 呂 幸 利
総 務 部 長	更 屋 英 洋

---

午前10時6分開会・開議

## 開 会 ・ 開 議

○議長（中森博文） ただいまから令和6年三重県議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

## 諸 報 告

○議長（中森博文） 日程に入るに先立ち、報告いたします。

例月出納検査報告1件が提出されましたので、お手元に配付いたしました。

次に、説明のための出席要求につきましては、お手元に配付の名簿のとおり出席を求めました。

以上で報告を終わります。

## 会議録署名議員の指名

○議長（中森博文） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員として、

1 番 荊 原 広 樹 議員

2 番 伊 藤 雅 慶 議員

4 番 龍 神 啓 介 議員

以上、3名の方を指名いたします。



## 会 期 の 決 定

○議長（中森博文） 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日から12月19日までの337日間といたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中森博文） 御異議なしと認め、会期は337日間と決定いたしました。これをもって本日の日程は終了いたしました。

## 休 会

○議長（中森博文） お諮りいたします。明19日から2月18日までは休会といたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中森博文） 御異議なしと認め、明19日から2月18日までは休会とすることに決定いたしました。

2月19日は定刻より本会議を開きます。

## 散 会

○議長（中森博文） 本日はこれをもって散会いたします。

午前10時8分散会